

評価項目	S・A (100～80点)	B (79～70点)	C (69～60点)	D (59点以下)
卒業研究に主体的に取り組むことができる (E)	研究テーマに関する分野に広く興味関心を持ち、自ら具体的な目標を設定して、積極的に卒業研究に取り組むことができる  (20～16点)	研究テーマに興味を持ち、自分で良く考えて卒業研究に取り組むことができる  (16～14点)	研究テーマに沿って、自分から卒業研究に取り組むことができる  (14～12点)	自分から卒業研究に取り組むことができない  (12点以下)
造形デザインの関連分野における課題を見出すことができる (E)	指導教員の助言を参考に、自ら研究分野の現状を見極め、本質的な課題を見出すことができる  (20～16点)	指導教員の指導のもと、研究分野の現状を見極め、本質的な課題を見出すことができる  (16～14点)	指導教員の手厚い指導のもと、研究課題を見出すことができる  (14～12点)	研究課題を見出すことができない  (12点以下)
課題の解決に向けた調査・研究を進めることができる (E)	指導教員の助言を参考に、自ら考え、試行錯誤を何度も繰り返しながら、具体的な解決策を導き出すことができる  (20～16点)	指導教員の指導のもと、試行錯誤を繰り返しながら、具体的な解決策に到達することができる  (16～14点)	指導教員の手厚い指導のもと、調査や研究を進めることができる  (14～12点)	調査や研究を進めることができない  (12点以下)
研究成果としての作品を完成させ、研究および制作のプロセスを研究ノートとにまとめることができる (F)	研究成果として新規性・独創性のある作品を完成させ、研究および制作のプロセスをわかりやすく研究ノートにまとめることができる  (20～16点)	研究成果としての作品を完成させ、研究および制作のプロセスを研究ノートにわかりやすくまとめることができる  (16～14点)	研究成果としての作品を完成させ、研究および制作のプロセスを研究ノートにまとめることができる  (14～12点)	研究成果としての作品がなく、研究ノートをまとめることができない  (12点以下)
研究の成果を、中間発表会および最終発表会で発表することができる (F)	中間発表会および最終発表会で、熱意や思いを込めて聴衆が内容をよく理解できる発表をすることができる  (20～16点)	中間発表会および最終発表会で、内容が聴衆に伝わるように発表することができる  (15～14点)	中間発表会および最終発表会で、発表することができる  (13～12点)	研究の成果を発表をすることができない  (11点以下)